

2017年01月30日

RobecoSAM(ロベコサム)社が持続可能性に優れた企業を認定 住宅建設分野で2年連続ブロンズクラス

住友林業はロベコサム社(RobecoSAM)のサステナビリティ格付けで、2年連続ブロンズクラスに選定されました。ロベコサム社は社会的責任投資(SRI)評価の世界的な会社で「持続可能性に優れた企業」を認定しています。

ロベコサム社は世界の大手企業約3,400社を対象に経済・環境・社会面での取り組みについて評価し、60業種それぞれ上位15%の企業を「持続可能性に優れた企業」として「サステナビリティイヤーブック2017」に掲載。そのうち特に優れた企業をゴールドクラス・シルバークラス・ブロンズクラスとして格付けしています。

2017年「持続可能性に優れた企業」に選ばれた日本企業は53社。うち25社が各クラスに選定されました。当社は、10年連続して「持続可能性に優れた企業」に選ばれています。

住友林業グループは創業以来320余年にわたり、「木」という再生可能な自然素材を活かし、住生活に関する幅広い事業をグローバルに展開してきました。今後も持続可能な社会の実現に向け、事業を通じて社会課題の解決に貢献し、地域社会の発展と企業価値の向上をめざしていきます。



以上

《リリースに関するお問い合わせ》

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション室 真鍋・佐藤

TEL:03-3214-2270